

## 1日の価値はみんな一緒

先日、私の叔父が亡くなりました。その叔父が、昨年私に紹介してくれた言葉があります。それは、「君の臍臓を食べたい」（作：住野よる）に出てくる言葉でした。

登場人物の「桜良」は、臍臓の病気で余命1年と宣告されている高校1年生。そんな彼女に「残された貴重な時間でもっと他にした方がいいことがあるのでは？」と「僕」から質問されたのに対して答えた言葉。

「私も君も、もしかしたら明日死ぬかもしれない…そういう意味では私も君も変わらないよ。…1日の価値は全部一緒なんだから、何をしたかの差なんかで私の今日の価値は変わらない」

何をしたかで価値は決まらない。自分が楽しく、充実した1日を過ごせればいい…という考え方です。みんなはどんな1日を過ごしていますか？休業明けに教えてくださいね。

2年 副担任

国語科担当 三沢 達也

## 今日は何の日？

休業期間が長くなってきて、曜日や日付の感覚がなくなってきている人もいないのでしょうか？私自身もそうなのですが、これではいけないと思い、毎日、日付を意識するために「今日は何の日？」ということ調べてみるようにしてみました。調べてみると、意外なものの記念日を知ることができて面白いですよ。

ちなみに今日、5月25日は、「広辞苑」という国語辞典が初めて出版された日です。「広辞苑」は、完成までに7年という時間を費やし、1955年に出版された辞書なのですが、一体何語くらい言葉が収録されていると思いますか？興味を持った人は、ぜひ調べてみてください。休業明けに答え合わせをしましょう！

3年 担任

国語科担当 三瓶 沙耶香

## 体幹を鍛える = ぶれない心

私は、休業期間中に、お腹の029が気になり、筋トレアプリをゲットし、毎日筋トレをすることにしました。主に、「体幹」と言われる部分のトレーニングです。始めはとてつきつくて、やめたいと思う日もしばしば。…それでも何とか続けていると、最近になって少しずつ楽になってきました。すると、姿勢が良くなりました。長い時間歩いても疲れにくくなり、いつも元気でいられる気がしてきました。自分自身の体の幹となる部分を安定させると動きだけでなく心の部分も安定します。心と体のバランスって大切ですね。みんなと体を動かせる日が待ち遠しいです。

2年 担任

保健体育科担当 加藤 朋子

## いつもと違う日常の時間

休業期間中は今までとは違う時間の流れを感じています。昨日までの日常とはちょっと違う日々、こんな時期だからこそ自分のルーティンを大事にしながらも変化を楽しもうと思いました。時間は今までよりたくさんあるので、色々な本を読んでみました。「ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー」「京都幸せ食堂」「横浜大戦争・明治編」「14歳からのお金の話」「ディズニー ありがとうの神様が教えてくれたこと」「レ・ミゼラブル上下」「白銀の墟 玄の月①②③④」「そして、バトンは渡された」どれも図書室にある本です。気になるタイトルがあった人はぜひ図書室へ。

3年 担任

社会科担当 三木 真吾